

2020 年度 自己評価計画書

星稜高等学校

具体的取り組み	現 状	評価の観点 達成度判断基準
教務課		
1. ICT の活用し、業務の効率化をさらに進める。	生徒 1 人 1 台のタブレット PC の導入開始、Web 出願、イベント申込の開始および次年度の教務システム入替に向けて進行中または準備中である。	努力指標 A：確実にできた B：概ねできた C：やや不十分だった D：不十分だった
2. ミスが起これない環境づくり、システム運用を行う。また、情報共有を確実に言い仕事の無駄をなくす。	成績処理や欠席処理などの業務におけるミスが毎年数件発生している。情報共有や確認作業を確実に言い、ミスをなくしたい。	努力指標 A：確実にできた B：概ねできた C：やや不十分だった D：不十分だった
進路指導課		
1. 生徒、保護者の進路希望を把握し、正確な進学情報を共有できる環境を整える。説明会等に積極的に参加し、各学年・コースに応じた最新の進学・入試情報を得て、教職員と共有できるようにする。	保護者アンケートの「必要な進路情報が提供されている」の回答「当てはまる」・「どちらかと言えば当てはまる」の合計が 60%程度であるため、不十分である。	満足度指標 A：70%以上 B：65%以上 C：60%以上 D：60%未満
2. 生徒、保護者の進路希望が実現するように努力する。難関国立大学、難関私立大学、医学部医学科、地元国公立大学の合格者数を増やす。	昨年度は、難関国立大学 14 名、難関私立大学 158 名、医学部医学科 3 名、地元国公立大学（石川県・富山県）83 名であった。	成果指標 A：3 項目以上が増加 B：2 項目が増加 C：1 項目が増加 D：4 項目が減少
3. 生徒、保護者の進路希望で最も多い国公立大学の合格者数が増えるように努力する。現役での国公立大学合格者 150 名以上を目標とする。	例年、約 400 名の生徒が国公立大学への進学を希望している。昨年度の合格者は 147 名であった。	成果指標 A：150 名以上 B：100 名以上 C：50 名以上 D：50 名未満
生徒指導課		
あいさつ運動を更に推進することにより生徒の自発的な挨拶を促す。教職員や外部の方々との爽やかな交流を通して、笑顔の溢れる学校生活の場を築く。	昨年度は、生徒自らが積極的に挨拶を行うための「あいさつ運動」を年間通して実施することができたが、学校生活アンケートによる自己評価では、「できている。」・「概ねできている。」と回答した生徒は、併せて 92.6%であった。	成果指標 A：できた (80%以上) B：概ねできた (70%以上) C：やや不十分だった (60%以上) D：不十分だった (60%未満)
通学マナーを向上させながら、地域に貢献できる指導を目指す。	* 自転車通学マナー向上の為に自転車安全教室の実施。 * 地域・警察連携によるヤングイーグル隊の活動を実施。 * 県ライオンズクラブとの連携による、グッドマナーキャンペーン活動を実施。 * 意識を高める自己評価アンケートを実施。	成果指標 A：できた (80%以上) B：概ねできた (70%以上) C：やや不十分だった (60%以上) D：不十分だった (60%未満)

具体的取り組み	現 状	評価の観点 達成度判断基準
総務課		
学校諸行事の運営が円滑に進み、支障のないように、各学年、各課と綿密に連絡を取り、事前準備を進める。 ＊入学前オリエンテーション ＊入学式 ＊PTA 総会 ＊保護者対象説明会 ＊保護者懇談会 ＊入試説明会 ＊推薦入試・一般入試 ＊専願合格者説明会 ＊卒業式 ＊入学説明会	毎年の申し送り事項の確認、スタッフアンケート結果を踏まえて準備と運営をしている。	努力指標 A：確実にできた B：概ねできた C：やや不十分だった D：不十分だった
特活課		
1. 生徒会活動および委員会活動において生徒の自主性・主体性を重んじ、活発に活動が行われるように支援する。また、3 年目となる応援委員の活動をより活発化して、全校応援等でまとまりのある応援ができるように活動していきたい。	生徒会活動は、執行部の生徒が自ら企画した新たな取り組みを行うことができ、委員会活動も活発な活動が行われつつある。全校応援等でまとまりのある応援をすることが一番の課題である。	努力指標 A：確実にできた B：概ねできた C：やや不十分だった D：不十分だった
2. 文化祭食品テナントにおいて各クラスが衛生管理をしっかりと行うように指導し、食中毒予防に努める。職員および食品テナント実施クラスに講習会の受講を義務付けることによって意識向上を図りたい。	昨年度の文化祭食品テナントでは、テナント数を絞る、食品を限定する事で衛生管理対策を行う事が出来た。本年も各クラスが衛生面での責任を持ち実施できるよう事前の指導を徹底させたい。	努力指標 A：確実にできた B：概ねできた C：やや不十分だった D：不十分だった
3. 各部がそれぞれの目標を設定し、目標に向かって努力できる環境を整える。部活動加入率 70%以上を目指し、文武両道の実現を図る。	昨年度の文化祭食品テナントでは、テナント数を絞る、食品を限定する事で衛生管理対策を行う事が出来た。本年も各クラスが衛生面での責任を持ち実施できるよう事前の指導を徹底させたい。	成果指標 A：70%以上 B：65%以上 C：60%以上 D：60%未満
4. 生徒自身が主体的に健康な生活を送れるような実践力を育てる。(ヘルスプロモーション) 自己の健康課題について認識させ、個別の保健指導を実施する。視力・聴力および歯科検診において昨年度以上の病院受診率を目指す。	昨年度は、検尿・内科検診・胸部X線・心臓検診は受診率 100%であったが、視力・聴力および歯科で受診率が低かったので改善させていきたい。	成果指標 A：50%以上 B：45%以上 C：40%以上 D：40%未満
広報課		
世界で活躍する個性豊かな星稜生に“成長する”ことをイメージした「GROW! SEIRYO」のスローガンを、「GROW! ツリー」というシンボルを用いて多方面で表現・発信し続けていく。一貫理数コース、ICT 教育、土曜 GSP の取り組みなどの周知に加え、今年度よりスタートする Web 出願や専願推薦入試、また総合寮の完成も含めて、ハード面もソフト面も進化し続ける星稜の今をタイムリーに伝え、北陸私学の雄としてのブランディングを確固たるものとしたい。	テレビCMの放送が2年目に突入する中、172 名という驚異的な国公立大学の合格者数や専願推薦入試、学校見学会を初めて 2 回実施する中学など、テロップ内容は豊富であり、春放送に向け鋭意制作中である。また、新型コロナウイルスの影響で、中国生産のノベルティの確保が困難になる可能性が高く、早めの確認・注文を心掛けた。	努力指標 A：確実にできた B：概ねできた C：やや不十分だった D：不十分だった